



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月23日

上場会社名 株式会社両毛システムズ

上場取引所 東

コード番号 9691

URL <https://www.ryomo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北澤 直来

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 上山 和則 (TEL) 0277 - 53 - 3131

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	12,868	11.0	1,131	47.4	1,127	47.5	796	48.9
2023年3月期第3四半期	11,593	1.7	767	5.9	764	3.7	534	11.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 864百万円 (67.1%) 2023年3月期第3四半期 517百万円 (14.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	227.59	—
2023年3月期第3四半期	152.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	20,511	11,787	57.5
2023年3月期	18,819	11,059	58.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,787百万円 2023年3月期 11,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	22.00	37.00
2024年3月期	—	17.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	4.4	1,700	△3.7	1,700	△4.2	1,200	△1.1	342.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	3,510,000株	2023年3月期	3,510,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	11,311株	2023年3月期	11,268株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	3,498,707株	2023年3月期3Q	3,498,732株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資は継続的に持ち直し、企業収益も総じて改善されるなど景気に緩やかな回復基調が見受けられました。しかしながら、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇、海外景気の下振れ懸念、地政学リスクの高まりなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社及び連結子会社（以下、当社グループ）では、当期より10次中期経営計画がスタートし、「RSビジョン」実現に向け、重点施策として「強化・拡大」、「変革・成長」、「構造改革」に取り組み、公共分野及び民間分野とも受注拡大、製品・サービス強化、ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。また、ICTソリューションを通じて社会課題の解決に取り組み、地域や社会の進化・発展に貢献するための活動を実施してまいりました。

「強化・拡大」では、全事業が堅調に推移し、売り上げ、利益に貢献いたしました。具体的には、公共分野において、自治体・警察向けソリューションビジネスの拡大に取り組んでまいりました。民間分野では、エネルギー事業において、大型SI案件に取り組むほか、組込事業においては、企業の業界構造の変化に伴う積極的な投資を背景に受注拡大に努めてまいりました。また、両分野において、法改正に伴うシステム改修案件への対応やクラウドサービス拡大に取り組んでまいりました。

データセンタービジネスの推進では、2022年11月に着工した新データセンター建設が2023年12月に竣工を迎えるなど、今春稼働に向けた準備を進めてまいりました。

「変革・成長」では、民間分野において、製造業向けのお客さまのDX支援として、AMOサービス^{※1}強化に継続して取り組んでまいりました。また、データ活用を推進するクラウドサービス（メーターデータ運用管理システム）においてISO27017認証^{※2}を取得し、さらなる安全、安心なサービスの向上に取り組んでまいりました。

「構造改革」では、データセンターを活用した利用料ビジネスの拡大等により、収益構造が平準化されてまいりました。また、お客さまとの最適なコミュニケーションを図るための活動や環境整備、人を活かすしくみづくりの一環として、執務領域のリニューアルなど働きやすい職場環境の整備に努めてまいりました。

その結果、売上高は12,868百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は1,131百万円（前年同期比47.4%増）、経常利益は1,127百万円（前年同期比47.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は796百万円（前年同期比48.9%増）となりました。

※1 AMO (Application Management Outsourcing) サービス：お客さまの業務システムを企画・設計から運用・保守までのシステムライフサイクルを通してサポートするサービス

※2 ISO27017 認証：クラウドサービスに関する情報セキュリティ管理策のガイドライン規格

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(公共事業セグメント)

公共事業セグメントは、自治体・警察向けのシステム販売によるソフトウェア開発・システム販売分野が堅調に推移、クラウドサービスやグループの総合力を活かしたアウトソーシング・サービス等の情報処理サービス分野が堅調に推移したこと等が、売り上げ、利益に貢献いたしました。一方で、一部のプロジェクトでは不採算案件が発生したこと等により、売上高は6,030百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は970百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

(社会・産業事業セグメント)

社会・産業事業セグメントは、車載系組込ソフトウェア開発支援業務、ガス事業者向け「GIOS®（ジーオス）」のシステム販売や製造業向けAMOサービスなどのITエンジニアリングサービスが堅調に推移したこと等により、ソフトウェア開発・システム販売分野が堅調に推移し、売り上げ、利益に貢献いたしました。

その結果、売上高は6,837百万円（前年同期比12.1%増）、セグメント利益は1,549百万円（前年同期比34.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産・負債・純資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は20,511百万円（前連結会計年度末18,819百万円）となり、1,692百万円増加しました。流動資産は1,004百万円減少し、9,924百万円となりました。固定資産は2,696百万円増加し、10,587百万円となりました。

流動資産の減少要因は、棚卸資産が672百万円増加しましたが、現金及び預金が1,205百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が766百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。固定資産の増加要因は、建設仮勘定が2,582百万円増加したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は8,723百万円（前連結会計年度末7,760百万円）となり、963百万円増加しました。流動負債は765百万円減少し、3,753百万円となりました。固定負債は1,729百万円増加し、4,970百万円となりました。

流動負債の減少要因は、賞与引当金が476百万円、未払金が384百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。固定負債の増加要因は、長期借入金が2,000百万円増加したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は11,787百万円（前連結会計年度末11,059百万円）となり、728百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が659百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,205百万円減少し、3,322百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、144百万円（前年同期は1,247百万円）となりました。この主な要因は、賞与引当金の減少額477百万円、棚卸資産の増加額672百万円等の資金の減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益1,126百万円の計上による資金の増加、売上債権の減少額589百万円等の資金の増加があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3,067百万円（前年同期は652百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出2,830百万円等の資金の減少があったこと等によるものです。

営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローをあわせたフリー・キャッシュ・フローは2,922百万円の減少（前年同期は595百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,712百万円（前年同期は686百万円）となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入2,000百万円の資金の増加があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期の連結業績予想につきましては、現時点で2023年5月9日に開示した内容に修正はありません。

上記連結業績予想は、現在において入手可能な情報及び仮定に基づいて判断したものであり、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における内外状況の変化により、実際の業績数値が予想の数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,708,310	3,502,732
受取手形、売掛金及び契約資産	4,114,677	3,348,384
リース投資資産	1,014,163	773,161
棚卸資産	277,307	950,179
その他	814,624	1,349,816
貸倒引当金	△311	△196
流動資産合計	10,928,771	9,924,078
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	1,731,619	4,313,964
その他	2,454,455	2,527,250
有形固定資産合計	4,186,075	6,841,215
無形固定資産		
ソフトウェア	361,040	297,994
ソフトウェア仮勘定	10,782	21,417
その他	924,519	793,197
無形固定資産合計	1,296,341	1,112,609
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,764,333	1,847,977
その他	644,542	786,189
貸倒引当金	△542	△542
投資その他の資産合計	2,408,333	2,633,624
固定資産合計	7,890,750	10,587,449
資産合計	18,819,522	20,511,527
負債の部		
流動負債		
買掛金	562,857	587,596
未払金	1,137,760	752,809
未払法人税等	413,647	45,970
賞与引当金	861,018	384,076
役員賞与引当金	14,360	6,478
受注損失引当金	67,589	297,886
その他	1,462,583	1,679,026
流動負債合計	4,519,818	3,753,843
固定負債		
長期借入金	1,500,000	3,500,000
リース債務	1,461,020	1,157,027
退職給付に係る負債	2,502	2,322
資産除去債務	145,000	145,000
その他	131,817	165,772
固定負債合計	3,240,340	4,970,122
負債合計	7,760,158	8,723,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	6,840,101	7,499,929
自己株式	△8,947	△9,054
株主資本合計	11,251,703	11,911,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,377	87,078
為替換算調整勘定	△5,748	△1,549
退職給付に係る調整累計額	△217,968	△209,391
その他の包括利益累計額合計	△192,339	△123,862
純資産合計	11,059,364	11,787,561
負債純資産合計	18,819,522	20,511,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	11,593,695	12,868,950
売上原価	8,544,893	9,461,107
売上総利益	3,048,801	3,407,843
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	703,645	681,314
賞与引当金繰入額	267,623	236,356
役員賞与引当金繰入額	27,178	11,164
退職給付費用	△1,212	18,841
貸倒引当金繰入額	69	△105
その他	1,283,875	1,329,027
販売費及び一般管理費合計	2,281,180	2,276,598
営業利益	767,621	1,131,244
営業外収益		
受取利息	611	1,146
受取配当金	6,104	7,577
受取賃貸料	5,855	5,910
転リース差益	8,693	5,879
その他	10,763	3,958
営業外収益合計	32,028	24,473
営業外費用		
支払利息	23,519	24,397
賃貸収入原価	755	977
解約金	6,000	-
その他	5,064	3,112
営業外費用合計	35,339	28,487
経常利益	764,310	1,127,230
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	1,449	592
投資有価証券売却損	-	17
特別損失合計	1,449	609
税金等調整前四半期純利益	762,860	1,126,621
法人税等	227,959	330,343
四半期純利益	534,901	796,278
親会社株主に帰属する四半期純利益	534,901	796,278

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	534,901	796,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,035	55,700
為替換算調整勘定	1,812	4,198
退職給付に係る調整額	△23,184	8,577
その他の包括利益合計	△17,336	68,476
四半期包括利益	517,564	864,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	517,564	864,754

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	762,860	1,126,621
減価償却費	328,725	333,789
無形固定資産償却費	328,489	284,318
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△158,695	△71,406
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△500	△282
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△330,547	△477,938
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,542	△7,148
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	16,546	230,296
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	69	△115
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,000	-
受取利息及び受取配当金	△6,716	△8,723
支払利息	23,519	24,397
固定資産売却損益 (△は益)	-	△0
固定資産除却損	1,449	592
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	17
売上債権の増減額 (△は増加)	512,466	589,822
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△399,295	△672,872
リース投資資産の増減額 (△は増加)	352,366	241,001
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△27,708	△269,419
仕入債務の増減額 (△は減少)	336,237	△265,223
未払費用の増減額 (△は減少)	△50,013	△85,043
リース債務の増減額 (△は減少)	△390,467	△289,491
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	295,852	149,650
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△55	1,476
その他	△3,838	△3,945
小計	1,588,204	830,373
利息及び配当金の受取額	6,717	8,724
利息の支払額	△23,508	△24,368
法人税等の支払額	△323,607	△669,732
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,247,805	144,996
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△170,000	△170,000
定期預金の払戻による収入	170,000	170,000
定期預金の担保解除による収入	1,000,000	-
投資有価証券の取得による支出	△155	△160
投資有価証券の売却による収入	-	2,595
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△83,637	△145,872
有形固定資産の取得による支出	△1,443,467	△2,830,931
有形固定資産の売却による収入	-	0
無形固定資産の取得による支出	△124,966	△92,708
投資活動によるキャッシュ・フロー	△652,226	△3,067,077

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	2,000,000
リース債務の返済による支出	△231,222	△244,504
セール・アンド・リースバックによる収入	1,042,262	94,032
配当金の支払額	△124,830	△136,453
その他	-	△107
財務活動によるキャッシュ・フロー	686,209	1,712,967
現金及び現金同等物に係る換算差額	686	3,535
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,282,474	△1,205,578
現金及び現金同等物の期首残高	2,745,984	4,528,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,028,458	3,322,732

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

当社は、2018年10月26日付（訴状送達日：2018年11月15日）で、株式会社オージス総研から報酬及び損害賠償金として総額3,409,520千円並びにこれに対する遅延損害金の支払を求める訴訟の提起を受けております。

本件訴訟は、株式会社オージス総研がエンドユーザから受注し、当社に対して発注した、電力自由化に向けた、エンドユーザのシステム開発プロジェクトに関し、開発したシステムに瑕疵があることを理由とする債務不履行等に基づく損害賠償の支払い、株式会社オージス総研がこれに関する当社の業務を支援したことを理由とする商法第512条に基づく報酬の請求並びにそれらの遅延損害金の支払いを要求するものであります。

当社は今後の訴訟手続きにおいて、当社の正当性が全面的に受け容れられるよう主張し争う方針です。

なお、本件訴訟が当社グループの今後の業績に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
ソフトウェア開発・システム販売	1,002,021	3,089,438	4,091,459	—	4,091,459
情報処理サービス	3,608,572	2,047,167	5,655,740	—	5,655,740
システム機器・プロダクト関連販売	867,556	940,541	1,808,098	—	1,808,098
その他の情報サービス	16,015	22,381	38,396	—	38,396
顧客との契約から生じる収益	5,494,166	6,099,529	11,593,695	—	11,593,695
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,494,166	6,099,529	11,593,695	—	11,593,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,494,166	6,099,529	11,593,695	—	11,593,695
セグメント利益	1,003,776	1,156,482	2,160,259	△1,392,637	767,621

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,392,637千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△232,832千円及び全社費用△1,159,804千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
ソフトウェア開発・システム販売	1,072,077	3,751,612	4,823,690	—	4,823,690
情報処理サービス	3,934,755	2,012,836	5,947,592	—	5,947,592
システム機器・プロダクト関連販売	998,102	1,051,758	2,049,860	—	2,049,860
その他の情報サービス	26,046	21,760	47,806	—	47,806
顧客との契約から生じる収益	6,030,982	6,837,968	12,868,950	—	12,868,950
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,030,982	6,837,968	12,868,950	—	12,868,950
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,030,982	6,837,968	12,868,950	—	12,868,950
セグメント利益	970,853	1,549,732	2,520,586	△1,389,341	1,131,244

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,389,341千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△136,530千円及び全社費用△1,252,810千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。